									[学概論 Ⅱ	
	津工業高 磁情報	ال _د 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	交 開講年月	度 令和05年度	(2020 1 /2)	ענ ן	業科目	NO DEL TELE		
科日番号		c0090			科目区分		南阳 / 沙	(文		
科日留5 授業形態		講義			1					
投票形態 開設学科			- T 坐 私	T 쓴 전		単位の種別と単位数		履修単位: 1		
用設子科 開設期	ł	環境都市	1上子科	上子行		対象学年 週時間数		2		
	¥h++		前期 指定せず			2				
教科書/勃 担当教員										
		上村 繁樹	旫							
到達目		_ + + - 1/ 81	nmar +6.rm							
1. 社会 2. 環境	(基盤構造物の 都市工学分別	の意義を説り 野の各論にて	flし、課題を整埋 Oいて基礎的な内	することができる。 容を習得し,その学	問体系における位	置づけと	役割を理解	する.		
	リック			, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,						
			理想的な到達		標準的な到達し	ノベルの目]安	未到達レベ	 ルの目安	
評価項目1				物の意義を説明し、		社会基盤構造物のの意義と問題点			造物のの意義と問題点	
				ることができる。		を説明できる。			ない。	
評価項目2			基礎的な内容	学分野の各論についる 学を習得し, その学問 位置づけと役割を理	3 環境都市工学を	環境都市工学分野の各論について 基礎的な内容と役割を理解する.			学分野の各論について 容と役割を説明できな	
評価項目	-									
学科の	到達目標耳	頁目との関	[係							
準学士課	程 2(2)									
教育方	 法等									
概要		本講義は	は環境都市工学を	 学ぶためのガイダン	· スを行う科目です.	1				
注意点		環境都市	丁学を学ぶ動機	づけとなる基礎科目	を作成して下さい. であり、しっかり。		ひこと。			
授業の	属性・履 <u>値</u> ティブラーニ	多上の区分		づけとなる基礎科目		と取り組み	ひこと。	□ 実務経	険のある教員による授	
授業の □ アク [:]	ティブラーニ	多上の区分	}	づけとなる基礎科目	であり、しっかり。	と取り組み	ひこと。	□ 実務経	険のある教員による授	
授業の □ アク [:]	ティブラーニ	<u>多上の区分</u> ニング	} □ ICT 利用	づけとなる基礎科目	であり、しっかり。	と取り組む			険のある教員による授	
授業の □ アク	ティブラーニ	多上の区分	} □ ICT 利用 授業内容	づけとなる基礎科目	であり、しっかり。	と取り組 h応 週ごと	の到達目標	E	験のある教員による授 ペートの作成方法につい	
授業の □ アク [:]	ティブラーニ	多上の区分 ニング 週 1週	} □ ICT 利用	づけとなる基礎科目	であり、しっかり。	と取り組 応 調ごと 講義の て学ぶ	の到達目標 ガイダンス	・ 【を行う. レボ	ートの作成方法につい	
授業の □ アク [:]	ティブラーニ	多上の区分 ニング 週 1週 2週	計画 ICT 利用 授業内容 環境都市工学の 社会基盤構造物	づけとなる基礎科目 概要 (1)	であり、しっかり。	と取り組 応 週ごと 武美の で 社会基	の到達目標 ガイダンフ · 盤構造物の	₹ くを行う. レボ D種類を説明で	ペートの作成方法につい	
受業の] アク	ティブラーニ	多上の区分 ニング 週 1週 2週 3週	計画 ICT 利用 授業内容 環境都市工学の 社会基盤構造物 社会基盤構造物	づけとなる基礎科目 概要 ((1) (2)	であり、しっかり。	と取り組 応 週ごとの 講義ぶ 社会基 社会基	の到達目標 ガイダンフ ・ 盤構造物の 盤構造物の	₹ 【を行う. レボ D種類を説明で D意義を説明で	『ートの作成方法につい 『きる 『きる	
受業の] アク	ティブラーニ	多上の区分 ニング 週 1週 2週 3週 4週	けます。	がけとなる基礎科目 概要 (1) (2) (3)	であり、しっかり。	と取り組 応 週ごとの 講義ぶ 社会基 社会基	の到達目標 ガイダンフ ・ 盤構造物の 盤構造物の	₹ くを行う. レボ D種類を説明で	『ートの作成方法につい 『きる 『きる	
受業の] アク	ティブラーニ	多上の区分 ニング 週 1週 2週 3週 4週 5週	対して ICT 利用 授業内容 環境都市工学の 社会基盤構造物 社会基盤構造物 社会基盤構造物 社会基盤構造物 社会基盤構造物 社会基盤構造物 社会基盤構造物	がけとなる基礎科目 概要 (1) (2) (3) (4)	であり、しっかり。	と取り組 応 週 ご 義 学 会 会 る る る る る る る る る る る る る る る る る	の到達目標 ガイダンフ・ ・ 盤構造物の 盤構造物の 盤構造物の 社会基盤構	を行う、レボンを行う、レボンの種類を説明でいる。 ごの意義を説明でいる。 ごの問題点を説明でいる。 ではいる。	ペートの作成方法につい きる できる できる 説明できる	
授業の □ アク [:]	ティブラーニ	多上の区分 こング 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週	受業内容 環境都市工学の 社会基盤構造物 社会基盤構造物 社会基盤構造物 社会基盤構造物 社会基盤構造物 社会基盤構造物	ボックス (1) (2) (3) (4) (5)	であり、しっかり。	と取り組織	の到達目標 ガイダンフ ・ 盤構造物の 盤構造物の 社会基盤構 社会基盤構	を行う、レボンを行う、レボンを行う、レボンの意義を説明でいい。 い問題点を説明でいい。 は物を役割を は物を役割を	ペートの作成方法につい できる できる できる :説明できる :説明できる	
授業の □ アク [:]	ティブラーニ	多上の区分 こング 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週	授業内容 環境都市工学の 社会基盤構造物 社会基盤構造物 社会基盤構造物 社会基盤構造物 社会基盤構造物 社会基盤構造物	概要 (1) (2) (3) (4) (5) (6)	であり、しっかり。	と取り組 応 週講で社会会 社社会 対し 対し は は は は は は は は は は は は は	の到達目標 ガイダンス・ 盤構造物の 盤構造物の 社会基盤構 社会基盤構 社会基盤構	を行う、レボンを行う、レボンを行う、レボンの をできませい。 をできませい。 をできませい。 をできまする。 はできまする。 はできまする。 はできまする。 はできまする。 はできまする。 はできまする。 はできまする。 はいまする。 といまする。 といまする。 といまする。 といまする。 といまする。 といまする。 といまする。 といまする。 とっと。 とっと。 とっと。 とっと。 とっと。 とっと。 とっと。 とっ	ペートの作成方法につい できる できる 引できる :説明できる :説明できる	
授業の] アク: 授業計	ティブラーニ	多上の区分 ニング 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週	授業内容 環境都市工学の 社会基盤構造物 社会基盤構造物 社会基盤構造物 社会基盤構造物 社会基盤構造物 社会基盤構造物 社会基盤構造物 社会基盤構造物	ボスター ボック (1) (2) (3) (4) (5) (6) (7)	であり、しっかり。	に	の到達目標 ガイダンフ ・ 盤構造物の 盤構造物の 社会基盤構 社会基盤構 社会基盤構 社会基盤構	を行う、レボンを行う、レボンをできます。 (を行う、レボンの) 種類を説明でいる (表表を説明でいる) 問題点を説明を役割をできます。 (表表の) を役割をできます。 (表表の) を役割をできまきがを役割を	ペートの作成方法につい できる できる 引できる :説明できる :説明できる	
授業の □ アク・ 授業計	ティブラーニ	多上の区分 コガ 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週	受業内容 環境都市工学の 社会基盤構造物 社会基盤構造物 社会基盤構造物 社会基盤構造物 社会基盤構造物 社会基盤構造物 社会基盤構造物 社会基盤構造物 社会基盤構造物	概要 (1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) でのまとめ	であり、しっかり。	と取り組織	の到達目標 ガイダンプ・ 盤構造物の 盤構造物の 性会基盤構 社会基盤構 社会基盤構 社会基盤を 社会基盤を 社会基盤を 社会基盤を 社会基盤を	を行う、レボンを行う、レボンを行う、レボンのでは、 の意義を説明でいた。 の問題点を説明でいた。 は造物を役割を は造物を役割を は造物を役割を はき物を役割を はき物を役割を はき物を役割を	ペートの作成方法につい できる できる 説明できる 説明できる 説明できる 説明できる	
授業の □ アク・ 授業計	ティブラーニ	多上の区分	受業内容 環境都市工学の 社会基盤構造物 社会基盤構造物 社会基盤構造物 社会基盤構造物 社会基盤構造物 社会基盤構造物 社会基盤構造物 社会基盤構造物 社会基盤構造物 社会基盤構造物	概要 (1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) でのまとめ (8)	であり、しっかり。	と取り組織	の到達目標ガイダンプ・ ・盤構造物の 盤構造物の 社会基盤構 社会基盤構 社会基盤構 社会基盤構 社会を基盤が で	製 を行う、レポ の種類を説明で の意義を説明で の問題点を説明 動造物を役割を 動造物を役割を 動造物を役割を 動造物を役割を 動造物を役割を 動造物を役割を 動き物を役割を	ペートの作成方法につい きる きる できる 説明できる 説明できる 説明できる 説明できる	
授業の] アク: 授業計	ティブラーニ	多上の区分	対して ICT 利用 授業内容 環境都市工学の 社会基盤構造物 社会基盤機 社会基盤機 社会基盤 社会基盤 社会基盤 社会基盤 社会基盤 社会基盤 社会基盤 社会基盤 社会基盤 社会基盤 社会基 社会基盤 社会基 社会基盤 社会基 社会基 社会基 社会基 社会基 社会基 社会基 社会基	概要 (1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) でのまとめ (8)	であり、しっかり。	と取り組織	の到達目標 ガイダンプ 盤構造物の 盤構造物の 社会基盤 社会基盤 社社会基盤 社社会基盤 世界の社会 世界の社会	を行う、レボンを行う、レボンを行う、レボンの意義を説明でいい。 対象を説明でいい。 対象を説明をいいる。 はも物を役割をはいいる。 はも物を役割をはいる。 はも物を役割をはいる。 はも物を役割をはいる。 はいまする。 はいまる。	ペートの作成方法につい できる できる 説明できる 説明できる 説明できる 説明できる	
授業の □ アク・ 授業計	ティブラー <u>:</u> 画 1stQ	多上の区分	□ ICT 利用 授業内容 環境都市工学の 社会基盤構造物	概要 (1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) でのまとめ (8) (9)	であり、しっかり。	と取り組織	の到達目標 ガイダンプ 盤構造物の 盤構造物の 社会基盤 社会会基盤盤 社社会基盤盤 社社会基盤と 世界のの社会 世界の	を行う、レボークを持ち、大きなできる。 を行う、レボークをできる。 を説明でいた。 を説明をいたできる。 は当なを役割をできる。 は当なを役割をできる。 は基盤を調べる。 は基盤を調べる。	ペートの作成方法につい できる できる 説明できる 説明できる 説明できる 説明できる	
授業の □ <i>アク</i> : 授業計	ティブラーニ	多上の区分 こング 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週	授業内容 □ ICT 利用 授業内容 環境都市工学の 社会基盤構造物	概要 (1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) でのまとめ (8) (9) (10)	であり、しっかり。	と取り組織	の到達目標 ガイダンス 整構造物の 盤構造物の 社会基盤 社会基基盤 社会基基盤 社会基基盤 世界の社会 世界の社会 世界の社会	を行う、レボークを行う、レボークを行う、レボークを説明できる。 はいまた できまた できまた できまた できまた できまた できる はいまた できる はいまた できる はいまた できる はいまた はいまた はいまた はいまた はいまた はいまた はいまた はいまた	ペートの作成方法につい できる できる 説明できる 説明できる 説明できる 説明できる	
授業の □ <i>アク</i> : 授業計	ティブラー <u>:</u> 画 1stQ	多上の区分	□ ICT 利用 授業内容 環境都市工学の 社会基盤構造物	概要 (1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) でのまとめ (8) (9) (10)	であり、しっかり。	と取り組織	の到達目標ができます。 整構造物の 整構造物の 社会基盤を を	を行う、レボン 種類を説明でいた。 意義を説明でいた。 意義を説明でいた。 意識をといいまき物を役割をきました。 基盤を調べる 会基盤を調べる 会基盤を調べる 会基盤を調べる 会基盤を調べる 会基盤を調べる 会 基盤を調べる 会 基盤を調べる 会 基盤を調べる る 会 基盤を調べる る 会 基盤を調べる る 会 基盤を調べる る る る る る る る る る る る る る る る る る る	ペートの作成方法につい できる できる 説明できる 説明できる 説明できる 説明できる	
授業の □ <i>アク</i> : 授業計	ティブラー <u>:</u> 画 1stQ	多上の区分 こング 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週	授業内容 □ ICT 利用 授業内容 環境都市工学の 社会基盤構造物	概要 (1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) でのまとめ (8) (9) (10) (11)	であり、しっかり。	と取 応 週 講て社社社身身身部日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日	の到達目標ができます。 整構造物の 整構造物の 社会基盤を を	を行う、レボークを では、 を行う、レボーク では、 を行う、レボーク では、 を行う、レボーク では、 を説明では、 できる。 は、 をいますが、 できる。 は、 といますが、 できる。 は、 このは、 このは、 このは、 このは、 このは、 このは、 このは、 こ	ペートの作成方法につい できる できる 説明できる 説明できる 説明できる 説明できる	
授業の □ <i>アク</i> : 授業計	ティブラー <u>:</u> 画 1stQ	多上の区分 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週	受業内容 環境都市工学の 社会基盤構造物 社会基盤構造物 社会基盤構造物 社会基盤構造物 社会基盤構造物 社会基盤構造物 社会基盤構造物 社会基盤構造物 社会基盤構造物 社会基盤構造物 社会基盤構造物 社会基盤構造物 社会基盤構造物 社会基盤構造物 社会基盤構造物	概要 (1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) でのまとめ (8) (9) (10) (11)	であり、しっかり。	と取 応 週 講て社社社身身身部日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日	の到達目標ガイダンプ・一般構造物のの は 社会会 基盤 機構 を を を を を を を を を を を を を を を を を を	を行う、レボークを では、 を行う、レボーク では、 を行う、レボーク では、 を行う、レボーク では、 を説明では、 できる。 は、 をいますが、 できる。 は、 といますが、 できる。 は、 このは、 このは、 このは、 このは、 このは、 このは、 このは、 こ	ペートの作成方法につい できる できる 説明できる 説明できる 説明できる 説明できる	
受業計	ティブラーニ 画 1stQ 2ndQ	多上の区分 - ング 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週	受業内容 環境都市工学の 社会基盤構造物 社会基盤構造物 社会基盤構造物 社会基盤構造物 社会基盤構造物 社会基盤構造物 社会基盤構造物 社会基盤構造物 社会基盤構造物 社会基盤構造物 社会基盤構造物 社会基盤構造物 社会基盤構造物 社会基盤構造物 社会基盤構造物	概要 (1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) でのまとめ (8) (9) (10) (11)	であり、しっかり。	と取 応 週 講て社社社身身身部日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日	の到達目標ガイダンプ・一般構造物のの は 社会会 基盤 機構 を を を を を を を を を を を を を を を を を を	を行う、レボークを では、 を行う、レボーク では、 を行う、レボーク では、 を行う、レボーク では、 を説明では、 できる。 は、 をいますが、 できる。 は、 といますが、 できる。 は、 このは、 このは、 このは、 このは、 このは、 このは、 このは、 こ	ペートの作成方法につい できる できる 説明できる 説明できる 説明できる 説明できる	
授業計	ティブラーニ 画 1stQ 2ndQ	多上の区分 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週	受業内容 環境都市工学の 社会基盤構造物 社会基盤構造物 社会基盤構造物 社会基盤構造物 社会基盤構造物 社会基盤構造物 社会基盤構造物 社会基盤構造物 社会基盤構造物 社会基盤構造物 社会基盤構造物 社会基盤構造物 社会基盤構造物 社会基盤構造物 社会基盤構造物	概要 (1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) でのまとめ (8) (9) (10) (11)	であり、しっかり。	と 立 立 立 立 立 立 立 立 の が に の が は は は は は は は は は は は は	の到達目標ガイダンプ・一般構造物のの は 社会会 基盤 機構 を を を を を を を を を を を を を を を を を を	を行う、レボークを持ち、大きには、 できます を できます できます できます できます できます かいます かいます できます かいます かいます かいます かいます かいます かいます かいます かい	ペートの作成方法につい できる できる 説明できる 説明できる 説明できる 説明できる	
授業の ファク・ 授業計 評価割	pィブラーニ 画 1stQ 2ndQ	多上の区分 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週	授業内容 環境都市工学の 社会基盤構造物 社会基盤構造物 社会基盤構造物 社会基盤構造物 社会基盤構造物 社会基盤構造物 社会基盤構造物 社会基盤構造物 社会基盤構造物 社会基盤構造物 社会基盤構造物 社会基盤構造物 社会基盤構造物 社会基盤構造物 社会基盤構造物	概要 (1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) でのまとめ (8) (9) (10) (11)	であり、しっかり。	と 立 立 立 立 立 立 立 立 の が に の が は は は は は は は は は は は は	の到達目標のガー・盤構造物ののが、一般な構造物ののでは、一般ないでは、一般	を行う、レボークを持ち、大きには、 できます を できます できます できます できます できます かいます かいます できます かいます かいます かいます かいます かいます かいます かいます かい	ペートの作成方法につい できる できる ごごのできる ご説明できる ご説明できる ご説明できる ご説明できる	
授業の □ アク: 授業計 前期	アィブラーニ 画 1stQ 2ndQ 合 試調合 0	多上の区分 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週	□ ICT 利用 授業内容 環境都市工学の 社会基盤構造物	概要 (1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) でのまとめ (8) (9) (10) (11) (12) (13)	であり、しっかり。 □ 遠隔授業対 □ 遠隔授業対 ■ 態度	と	の到達目標のガー・盤構造物ののが、一般な構造物ののでは、一般ないでは、一般	を行う、レボースを行う、レボースを行う、レボースを行う、レボースを説明でいた。 一種類を説明でいた。 一種類を説明を設まる。 一を設まるといる。 一を記述するといる。 一を記述する。 このにいる。 このにい	ペートの作成方法につい できる できる 説明できる 説明できる 説明できる 説明できる	
	画 1stQ 2ndQ 合 試	多上の区分 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週	□ ICT 利用 授業内容 環境都市工学の 社会基盤構造物	概要 (1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) でのまとめ (8) (9) (10) (11) (12) (13)	であり、しっかり。 □ 遠隔授業対 □ 遠隔授業対 ■ □ 遠隔接業対 ■ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	と取応 週講で社社は身身身部日日日日日田田 ポロ の の の は 基 基 基 な な な な 修 と と と と と と し し し の の る 基 基 基 な な な な 修 と と と と と と と と と と と と と と と	の到達目標のガー・盤構造物ののが、一般な構造物ののでは、一般ないでは、一般	を行う、レボークを説明でいた。 種類を説明でいた。 意識を説明を設計を表した。 を問題を役割を表した。 を過ぎ物を役割を表します。 をはまする。 を基盤をある。 を基盤をある。 を基盤をある。 を基盤をある。 を基盤をある。 を基盤をある。 を基盤をある。 を基盤をある。 をはません。 とは、ここでは、ここでは、ここでは、ここでは、ここでは、ここでは、ここでは、ここ	ペートの作成方法につい できる できる 説明できる 説明できる 説明できる 説明できる 説明できる ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	